

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

※掲載内容以外にも個人一般質問で取り上げられ、議論されたものもあります。

佐々木 玲慈さん	都市と人口をシェアするという浜田の形(浜田の地形・立地・歴史に学ぶ)
	広島市と連携して、昼は広島で働き、夜は浜田に住み、人口をシェアするまちづくりに取り組んでどうか。浜田自動車道に広島への通勤・通学に使えるバスの専用レーンを作る。浜田に住むお母さんが発信できる労働環境の整備。小さい家とスペースを与える。学生に調査研究を依頼する。企業立地奨励事業費を使用。
	(対応) 新しい視点をいただきました。各議員が議会活動に活かします。
斎藤 晴子さん	城山登山口回りの整備
	城山広場のツタが絡みついている現状を改善してほしい。家族で楽しめる目新しい遊具を設置しては。
	(対応) 産業建設委員会で協議する。 (対応先協議結果) 城山周辺整備は担当課が計画的に実施するよう働きかけます。
高橋 達也さん	誰もが安全で安心できる暮らしについて
	消防団員の報酬水準を上げることで増員につながらないか。訓練がきついため入団を躊躇する人に対し、運動会のように競いながらできる実践的な訓練を導入しては。学校を建設する際に立地の安全性を考慮しているのか。通学路の拡幅ができないか。四中統廃合と小学校建て替えの計画に意見交換会の内容が盛り込まれていない説明であった。
	(対応) 総務文教委員会で取り扱う。 (対応先協議結果) 消防団員の報酬や訓練等のあり方については現在、国に設置されている「消防団員の処遇等に関する検討会」や「浜田市消防団施設のあり方検討会(平成30年4月発足)」において検討されているため、両検討会における検討状況を見守っていくことを基本としながら、今後、関係機関に意見・要望等について提言・提案することで、総務文教委員会として本件に関わっていきたいと考えています。 また、9月定例会議で①美川地区通学路の安全確保、②学校統合③統合後の校舎予定地の安全性について市に一般質問をした結果、教育長から①については「地形的に難しい部分があり、十分ではないですが、警察や道路管理者の理解をいただき、可能な限り対応しています。」②については、「保護者の不安はもっともで、今後ご理解いただけるよう十分に説明していきます。」③については、「校舎建設予定地は決まっていないが、仮に第四中学校の跡地利用を考えると、洪水浸水予定地域で、一部の土地は土砂災害特別警戒区域にもかかっており、検討の余地が十分あります。」という答弁がありました。

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

※掲載内容以外にも個人一般質問で取り上げられ、議論されたものもあります。

佐藤 仁さん	「すくすく」の跡地をボールが使える遊び場にしよう
	すくすくの跡地を利用して公園のない松原町にボールが使える遊び場を作ってほしい。社会問題にもなっている子どもの体力不足を少しでも解消することができると思う。
	(対応) 市有財産の有効活用、費用対効果の側面も踏まえながら、自治区制度等行財政改革推進特別委員会で協議する。また、議員が個人一般質問で取り扱う。 (対応先協議結果) かつて松原町には浜田市立第二中学校や松原小学校があり、校庭で遊ぶこともできましたが、現在2つの学校は他の場所に移転しましたので、ご指摘の通り、松原町において、公園やボールを蹴れる遊び場はありません。このことは、浜田市の担当者も、理解しておりました。また、来年春には、子育て支援センターが、野原町に移転しますので、現在松原町にある子育て支援センターは解体の予定であり、その後の利用の計画は、浜田市において白紙状態です。跡地は、約5,000㎡ありますので、その一部を公園ないし、ボールを蹴れる遊び場にすることは不可能ではないように思われますし、浜田市の担当者も、必要性を理解しておりました。よって、地域の皆さんの総意として、町内会長さんなどが浜田市長に「陳情」していただければ、一歩前進するものと思います。地域の大人の方にこのことをお話いただき、行動を起こすようお願いしてみてください。 また、9月定例会議でボール蹴りのできる公園がほしいという要望に対する市の考えについて一般質問をした結果、都市建設部長から「地域住民の声ができる限り反映されるよう、精いっぱい対応したい。」という答弁がありました。
山根 織音さん	ゴミステーションのありかた
	ごみステーションの鳥獣被害による環境悪化や形状にばらつきのある現状に対して浜田市内のゴミステーションを頑丈な統一された形状のものにしては。利便性を可視化するために、浜田市のごみステーションマップを作成しては。
	(対応) まちづくりの視点から総務文教委員会で協議する。 (対応先協議結果) 現在、ゴミステーション設置時の補助金申請窓口と設置後に環境面・管理面の視点から助言・指導にあたる部署との連携が必ずしも十分ではなく、改善を要する点があることを総務文教委員会から関係部署へ指摘し、共通認識を持ちました。 なお、ゴミステーションマップの作成のご提案については、趣旨は理解するところですが、全市的なマップ作成の必要性は低いとの判断から、今回は執行部への情報提供といたしました。

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

※掲載内容以外にも個人一般質問で取り上げられ、議論されたものもあります。

岩本 柊花さん	浜田市と韓国の地方都市の共通点から考える新しい地方外交
	政治面でも少子高齢化や女性の社会進出といった日韓で共有できる話題で、韓国の地方都市と浜田市が連携を取り、意見共有ができる場を設けることで互いの問題解決につながるのでは。島根県が始めた関係人口を増やすための取り組みを、地方外交にも生かせないか。韓国の地方都市と連携を結び、関係人口を増やすことで浜田市のことを思い、考えてくれる韓国の人を一人でも多く生み出せないか。互いの国の意見に聞く耳を持てるよい機会になり、知識の共有、視野の拡大につながるのでは。新しい視点から物事を考えられるようになることで、よりよい政策を立てることが可能になるのではないか。
	(対応) 個人一般質問で取り上げる。 (対応先協議結果) いただいたテーマについて市に一般質問をした結果、地域政策部長から過去の浦項市と釜山市の交流実績に触れながら「はまだ市民一日議会にて提案のあった内容は重要な視点で、訪問事業は無理でも、若い人たちによるオンラインでの交流など、島根県立大学と相談しながら検討したい。」という答弁がありました。
田中 夕貴さん	浜田市の新しい学習スペース
	浜田駅の近くに学習スペースをつくることで、利便性が高く、利用者の増加につながると思われる。利用可能な時間を延ばし、1人の時間制限をなくし、多くの人が使え、管理の行き届いた新たな学習スペースをつくることで、学力向上にもつながる。また、交流スペースも併設することで、利用者の増加や地域貢献にもつながる。
	(対応) ルールづくりも含めて総務文教委員会で検討・研究をする。 (対応先協議結果) 新しい学習スペースの必要性についての趣旨は大変よく理解でき、同様の要望も多くあると感じています。現状を踏まえた上で、必要に応じて学生のニーズや他市の状況等について実態調査等を行うなど、今後、執行部とともに調査研究します。
植田 真代さん	人権教育としての性教育の重要性
	性教育が幼少期から行われるよう学習機会の創設のサポートが必要では。多様性を認め、ジェンダーギャップに対する取り組みをすることで、より誰にとっても暮らしやすい浜田になるのではないか。もっと気軽に性に関して学ぶことのできる環境づくりが重要。年齢関係なく地域の人と一緒に学べるようにするなどの取り組みを進めてほしい。
	(対応) 上記テーマの議員研修会を行い、併せて議員の個人一般質問でも取り上げる。 (対応先協議結果) 議会運営委員会主催で、全議員を対象とした議員研修会を11月以降に開催し啓発を図ります。また、9月定例会議の個人一般質問において、性教育の重要性について一日議会にて発言があったことに触れています。

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

※掲載内容以外にも個人一般質問で取り上げられ、議論されたものもあります。

平岡 瞬さん	浜田市でのリモートワーク（テレワーク）の推進について
	地方創生の一環として地方に移住した場合に補助金を出す施策が新しく始まっている。テレワークやリモートワークの方が補助対象になった。浜田市でそういったことを今後やる予定があるのか。やっていただきたい。移住してもらえれば浜田市の税収が上がり、人口も増え、関係人口の増加も見込める。リモートワークで浜田に住んだまま仕事ができる若者に伝わると人口流出も抑えられるのでは。
	（対応）雇用促進の視点から産業建設委員会で検討する。 （対応先協議結果） テレワークのできる都市部の企業とのマッチングができる体制の整備を進めるよう担当課に働きかけます。
鮎川 義英さん	駅前岩多屋の跡を観光的、歴史文化的、教育的に貢献する場所に
	青川に簡単な釣り堀を作って広島家族連れを呼び込んで。岩多屋の跡地である浜田で一番目立つところには何か浜田市の役に立つ施設になってほしい。あのスペースに、学生と市民と教授が集まり、懇談できるような場所を、県立大学があるまちとしてはぜひほしい。また、先ほど高校生が言われた学習スペースにも利用できるかと思う。道の狭い箇所を拡幅してほしい。
	（対応）駅前開発の視点から産業建設委員会で協議する。 （対応先協議結果） 市の方針を見極めた上で駅前のにぎわい創出につなげるよう働きかけます。
栗栖 真理さん	市民と市議会、そして子どもたちと共に、浜田市子ども条例をつくろう！ ～子どものあたり前が守られる、子どもにやさしいまちを目指して～
	今を生きる子どもたちの尊厳と権利を保障する浜田市子ども条例の制定を強く望む。ふるさとを愛する人を育むふるさと郷育も、子どもの権利を保障し幸せな子ども時代を過ごせる浜田であることが大前提。また子どもたちに育てたい主体性や自己肯定感など、教育が目指す人格形成も、子どもの権利保障と直結している。市民一日議会で、子どもの意見を聞く場が保証されたことは、とても意義がある。
	（対応）3つの常任委員会を横断する大きな問題であるため、改選後に議員有志で積極的に検討する。 （その他対応結果） 9月定例会議で子ども条例について市に一般質問をした結果、健康福祉部長から「子どもの権利を保障することは大切であると認識していて、本市での条例制定についても今後幅広く研究していく必要があります。」という答弁がありました。改選後に、新議員で調査研究していきたいと考えています。

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

※掲載内容以外にも個人一般質問で取り上げられ、議論されたものもあります。

毛利 まつみさん	人口減少・少子高齢化の浜田市 コロナ禍だからこそインターネット環境の整備が必要
	デジタル化が進みインターネット環境も整い、リモートで仕事ができるようになった。しかし田舎の暮らしは憧れだけでは行き詰まる。若い人たちが地方で働ける場とゆとりある子育て環境が必要と考える。ただ、自宅での仕事は孤立する可能性が大きいいため、インターネット環境が整った仕事場が提供できれば、そこを利用したり自宅でしたりすることで、家族関係の構築、異業種の方との出会い、地元の方も利用すればなお交流が広がるのではないだろうか。企業を誘致して社員が家族で移住することも良い。
	(対応) 雇用促進の視点から産業建設委員会で検討する。 (対応先協議結果) 浜田市高速情報通信基盤整備に併せて利用できる施設を見極め、活用の機会を創出するよう働きかけます。
三島 淳寛さん	政策や計画の決定の過程を可視化してほしい
	会議録を作成し、開示請求があれば開示できるものは市のHPに公開しては。会議の内容が公開されていれば、誤った判断材料をもとに決定したり、必要な判断資料がないまま最終的な判断が下されたりという危険性が減る。公正性や透明性の確保を図り、市民に信頼される市政の推進に資することを目指す必要がある。 (対応) 総務文教委員会で同様の陳情を採択したため、同委員会において今後の執行部の対応を注視します。
南條 達也さん	明日へつながる祭り（イベント）を企画したい
	その日で終わる催しではなく、その日以降につながる継続性のあるイベントで、地元で起業、自営などで活躍する方々がいきいきと活動できるようなイベントができるよう協力してほしい。（告知、会場確保、費用面、来場者の負担などへのアドバイス、支援） (対応) 発言内容のようなことを地元でやる方々をしっかりとバックアップできるよう、各議員が認識して議員活動を行います。
森谷 公昭さん	浜田市民に課される労働と環境・衛生について
	常識・非常識は流動的である。町内の溝掃除や草刈りを市民がするには限界。浜田市が予算をつけてすべきである。 (対応) 福祉環境委員会で検討する。 (対応先協議結果) 高齢化が進む中、草刈りの担い手が確保できなくなる地域は、今後も増加すると推察することから、地域で対応が難しくなった場合の対応策が必要と考えます。報償費の増額を含め、市民の皆様のご協力を得ながら、地域の実情に応じた対応ができるよう執行部に対して要望したいと考えております。

はまだ市民一日議会でご発言くださり、ありがとうございました。

議会での協議結果を以下のとおり報告します。

※掲載内容以外にも個人一般質問で取り上げられ、議論されたものもあります。

宮本 美保子さん	健康寿命延伸に向けての取り組み
	平均寿命、健康寿命は県下で最下位、がん検診の受診率は無料なのに低い。食生活改善推進協議会の活動に若者の参加が少ない。議会でも健康長寿延伸について協議していただきたい。市報に今まで以上に掲載が必要。食生活改善推進協議会の養成講座を浜田だけでなく各地域で受講できるようにしてほしい。子どもの食育指導について、教育委員会から学校と食生活改善推進協議会の連携を促してほしい。はまチャレの朝ごはんの項目をもっと濃くしてほしい。食育ネットワークの組織と一緒に取り組みたい。
有田 康夫さん	(対応) 福祉環境委員会で検討する。 (対応先協議結果)
	平均寿命・健康寿命についてはご指摘のとおり低い状況が続いています。正確な原因は掴めておりませんが、塩分摂取量が多いことも要因のひとつと考えることから、減塩活動の推進・啓発が必要です。また、朝ごはんの大切さを含め、食育については学校や職場など様々な場所での啓発が重要であり、その啓発活動を担う食生活改善推進協議会の会員養成講座について、受講しやすいものになるよう執行部へ働きかけたいと思います。健康寿命の延伸は市民の皆様が生き生きと暮らすために大変重要なことですので、議会としても調査・研究を行います。
有田 康夫さん	介護予防事業（総合事業）における浜田市の取り組みの不備について
	浜田市の福祉への取り組みは遅れている。既存の介護事業所に頼らず、行政の責任で介護予防の事業に取り組みなければならない。関連団体が浜田市にはない。浜田市 HP には趣旨説明が載っていない。介護予防の事業計画が浜田市にない（広域行政組合ではなく浜田市がつくるもの）。まず計画を策定しなければならない。資料館などの箱物ではなく本当に市民に必要な制度にお金を使ってほしい。
有田 康夫さん	(対応) 福祉環境委員会で検討する。また、広域行政組合の議員で共有し、広域行政組合にも働きかける。 (対応先協議結果)
	総合事業の取組については、国が示している取組の中で実施できていないものがあることは事実であります。健康で暮らすために介護予防の取組は大変重要なことから、今後、計画を含め必要な取組が進むよう執行部へ働きかけます。また、浜田地区広域行政組合にも文書を送付することで、ご指摘いただいた内容を共有しました。